

佐渡市トキビオトープ整備事業報告について

1 事業実施の経過

○平成19年度からトキの野生復帰に向け、餌場の整備拡大を目的として実施。

○平成19年度から23年度まではビオトープ整備、維持管理、冬期湛水等に対し補助。平成24年度からは、冬期湛水については、農林水産省の環境保全型農業直接支援事業(冬期湛水)に取組むこととし、本事業はビオトープ整備に特化した。

○平成23年度末に、平成19年度から平成23年度までの取組検証・評価を行い、今後の方針・事業計画の策定を行った。

○前回検証・評価し、事業計画を策定したものを元に、平成26年度に、平成24年度から平成25年度までの検証・評価を行った。

2 事業実績

《面積・事業費》

年度	19	20	21	22	23
団体数	16	21	23	20	23
ビオトープ(m ²)	140,993	272,923	345,285	352,000	315,600
冬期湛水(m ²)	237,949	692,778	951,572	1,037,613	1,980,860
事業費(千円)	11,502	27,283	24,953	26,536	23,608
募金助成額(千円)	4,786	9,925	10,750	12,525	11,803

年度	24	25	26	27
団体数	18	20	20	19
ビオトープ(m ²)	287,490	281,526	277,274	267,687
冬期湛水(m ²)	—	—	—	—
事業費(千円)	8,803	8,667	8,497	8,052
募金助成額(千円)	4,401	4,333	4,248	4,026

《トキ餌場利用観察実績》

年度	21	22	23	24	25	26	27
観察団体数	6	10	12	11	10	10	12
観察時期	10. 1月	4. 5. 6. 8. 11. 1. 2. 3月	4～3月	4～3月	4～3月	4～3月	4～3月
観察場所(延べ)	6箇所	15箇所	114箇所	72箇所	143箇所	109箇所	94箇所
観察羽数(延べ)	10羽	23羽	300羽	157羽	657羽	1, 209羽	332羽

3 検証・評価

(1) 検証

《実施面積》

平成26年度に比べ、実施団体数1団体減、それに伴い実施面積が減少した。しかし、農林水産部門助成制度の冬期湛水に取組むことにより、トキの餌場は確保されている。

《トキの餌場利用状況》

平成26年度に比べ、観察羽数は大幅に減少したが、ビオトープ整備団体以外に市民からの目撃情報が多数寄せられており、2羽以上で飛来している現象が多く見られることから、餌場としての利用率はあがって来ていると考える。

《餌となる生物の生息数の推移》

地域による種の偏りも少なく、多種多様な生物が確認されており、餌場としての効果が認められている。

(2) 評価

これまでの取組により、ビオトープ等が整備、維持管理されていることによって、トキが餌場を利用していることが確認されている。よって、本事業はトキの餌場維持確保に一定の効果があったものと考えられる。

4 課題及び今後の事業の方向性




- 放鳥トキの個体数も増え、平成27年度までのビオトープ整備事業対象エリアを越えての活動が多々見られる。特に真野・南部地区)それに伴い、平成28年度より、エリアを佐渡島内全域に拡大しトキの餌場確保に努める。
- 今後も放鳥トキの個体数が増えることが予想され、それに伴い、ビオトープの整備も重要になってくることから、新潟県トキ保護基金推進委員会からの助成をお願いしたい。
- 事業団体メンバーの高齢化がすすむにつれ、団体数、実施面積の減少が心配される中、担い手を育成する為に「ビオトープ整備事業講座」を26年度より開催しているが、今後も継続的に開催し担い手育成に努めていく。
- トキの餌場として重要な位置づけである「水田」の有効利用を図り、佐渡市が推奨する「生物を育む農法」と連携した中で、トキの餌場確保に努めていく。

5 今後の事業計画

トキの餌となる生物の生息・生育環境の保全・再生を強化するとともに、人とトキがともに生きる島づくりに向けて、市民と連携・協働による環境施策を促進する。

《施策の実施方針》(平成24年度～)

- トキの採餌環境に合わせた餌場整備・管理のあり方を検討し、多様な生物が生息できる環境づくり、良好な生態系の再生を図る。
- モニタリング調査に基づくトキ生息環境の評価を実施
- 貴重な生物が生息・生育する環境について、十分な理解が得られるよう保全保護活動を促進する。

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目以降
取組スケジュール	餌場管理・整備のありかた検討				
					
	トキの生息環境評価				
					
保全・保護活動の促進					
					

《事業計画》(平成28年度～)

年度	28			29			30			31			32		
	単価 (千円)	面積 (ha)	助成額 (千円)	単価 (千円)	面積 (ha)	助成額 (千円)	単価 (千円)	面積 (ha)	助成額 (千円)	単価 (千円)	面積 (ha)	助成額 (千円)	単価 (千円)	面積 (ha)	助成額 (千円)
ビオトープ	25	35	8,750	24	37	8,880	23	39	8,970	23	41	9,430	22	43	9,460
経年加算	5	23	1,150	5	28	1,400	5	33	1,650	5	38	1,900	5	38	1,900
事務費	1	35	350	1	37	370	1	39	390	1	41	410	1	43	430
生き物調査	4	40団体	160	4	40団体	160	4	40団体	160	4	40団体	160	4	40団体	160
事業費計			10,410			10,810			11,170			11,900			11,950

年度	33		
区分	単価	面積	助成額
	(千円)	(ha)	(千円)
ビオトープ	22	45	9,900
経年加算	5	38	1,900
事務費	1	45	450
生き物調査	4	40団体	160
事業費計			12,410

平成27年度
佐渡市トキビオトープ整備事業 位置図



野生復帰ステーション

原黒地区農地・水・環境保全会
ビオトープ 1.3ha

潟上水辺の会
ビオトープ 3.7ha

トキ保護センター

住吉資源環境保全
会ビオトープ 0.3ha

羽二生の里山を守る会
ビオトープ 0.5ha

水津トキの会
ビオトープ 0.2ha

内巻集落
ビオトープ 0.8ha

生椿の自然を守る会
ビオトープ 1.9ha

片野尾とき舞株式会社
ビオトープ 0.9ha

北方集落
ビオトープ 0.4ha

長畝ふるさと会
ビオトープ 0.2ha

NPOトキどき応援団
ビオトープ 0.5ha

月布施営農組合
ビオトープ 1.3ha

島集落ビオトープ 0.2ha

瓜生屋トキと水辺の会
ビオトープ 2.2ha

明日の・のうら21推進委員会
ビオトープ 1.1ha

(有)セブンシステム
ビオトープ 6.7ha

トキの里大野ビオトープ 0.9ha

トキが舞う赤玉
ビオトープ 2.6ha

豊岡集落トキ班
ビオトープ 0.2ha